



地区別ミーティング

西大村地区

7月22日(月) 19:00~

中地区公民館

※手話通訳が必要な方は、開催日
1週間前までに、地域げんき課へ
ご連絡ください。

問合せ： 地域げんき課
☎53-4111(内線185)

多くの皆さんの
ご参加をお待ち
しています。



第69回 社会を明るくする運動 中学・高校生弁論大会

大村・東彼地区大会

日時： 7月7日(日) 13:00~
場所： さくらホール

入場無料

問合せ 安全対策課
☎ 53-4111(内線214)



7月の歳時記



7月は「文月(ふみづき)」とよばれます。

これは、短冊に歌や字を書いて、書道の上達を祈った七夕の行事に因んだ「文披月(ふみひらづき)」が転じたものといわれています。

また、穂が見えるようになる頃であることから「穂見月(ほみづき)」が転じたという説もあります。「ふづき」とも読みます。

7月2日 半夏生(はんげしょう)



夏至から数えて11日目をいいます。
梅雨の末期で、半夏(はんげ)＝烏柄杓(カラスビシャク)という毒草が生える多湿で不順な頃とされています。
農家の人達はこの日までに田植えを済ませ、どんなに気候不順な年でもこの後は田植えをしないという習慣がありました。

7月7日 七夕(たなばた)

星祭りとも呼ばれる、五節句の1つです。

中国に古くから伝わる、牽牛星(けんぎゅうせい・わし座のアルタイル)、織女星(しょくじょせい・こと座のベガ)の伝説に基づいた星祭りの説話と日本古来の農耕儀礼や祖霊信仰と結びついたといわれています。

願い事を短冊に書いて笹竹に吊るす風習がありますが、これは、竹竿に糸をかけて裁縫や習字の上達を星に祈るとかなえられるという、中国の習わしからきているようです。



7月7日 小暑(しょうしょ)

夏至から数えて15日目頃、および大暑までの期間をいいます。

暑さがどんどん強くなっていくという意味があり、この頃から暑さが本格的になってきますが、梅雨の終わる頃で、集中豪雨が多く発生する時季でもあります。また、強い日差しと共に気温が一気に上がる時季のため、体調を崩しやすくなる頃でもあるので注意しましょう。

7月23日 大暑(たいしょ)

小暑から数えて15日目頃、および立秋までの期間をいいます。

梅雨明けの時季で、夏の土用もこの頃。いよいよ本格的な夏の到来です。最も暑い頃という意味ですが、実際の暑さのピークはもう少し後になります。

7月27日 土用の丑の日(うしのひ)

夏の土用は、1年の中で最も暑さが厳しいとされる時期にあたります。江戸時代から柿の葉などの薬草を入れたお風呂に入ったり(丑湯)、お灸をすえたり(土用灸)すると夏バテや病氣回復などに効き目があるとされていました。「丑の日にはうなぎ」もいいですね。



子ども会

入会しませんか



子ども会活動を通して、豊かな心を持ちたくましく自立した子どもを育てましょう。

問合せ：子ども会連合会事務局
☎54-3161(市コミセン内)